

みのり高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	必履修	単位数	教科書	副教材
書道 I	○	2	東京書籍「書道 I」	
評価方法	添削指導(計6回), 試験(年2回), 面接指導(年8)での評価			

指導目標

書道の幅広い活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【評価の観点】

- 【主体性】・主体的に書の表現及び幅広い活動に取り組む。
- 【思考・判断力・表現力】・書の良さや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わう。
- 【知識・技能】・書の表現方法や形式・書表現の多様性について幅広く理解する。  
・基礎的な技能を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回  提出期限 10月25日	◆書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写で学んできたこと</li> <li>・用具・用材</li> <li>・姿勢・執筆法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名、行書と行書に調和する仮名、配列の基本について学習する。</li> <li>・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に対処する態度を養う。</li> <li>・基本の姿勢、執筆法、後片付けについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。</li> </ul>
第2回  提出期限 11月22日	◆漢字の書 楷書の特徴 「楷書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「九成宮醴泉銘」</li> <li>・「孔子廟堂碑」</li> <li>・「雁塔聖教序」</li> <li>・「自書告身」</li> <li>・「牛欄造像記」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。</li> <li>・「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。</li> <li>・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。</li> </ul>
第3回  提出期限 12月20日	◆漢字の書 行書の特徴 「行書」  草書の特徴 「草書」  隸書の特徴 「隸書」  篆書の特徴 「篆書」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「蘭亭序」</li> <li>・「争坐位文稿」</li> <li>・「風信帖」</li> <li>・「真草千字文」</li> <li>・「曹全碑」</li> <li>・「泰山刻石」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の特徴を理解する。</li> <li>・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。</li> <li>・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>・「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。</li> <li>・「泰山刻石」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。</li> </ul>

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第4回      提出期限 1月17日	◆仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の成立</li> <li>・ 仮名を書く準備</li> <li>・ 平仮名の単体</li> <li>・ 変体仮名</li> <li>・ 連綿</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「蓬萊切」</li> <li>・ 「高野切第三種」</li> <li>・ 「関戸本古今和歌集」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の成立と変遷について理解する。</li> <li>・ 仮名の基本的な線、平仮名の単体の特徴、変体仮名、連綿について理解し、練習する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。</li> <li>・ 古筆を鑑賞し、その美について理解する。</li> <li>・ 古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。</li> </ul>
第5回      提出期限 1月24日	◆漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字仮名交じりの書の変遷</li> <li>・ 表現を比べよう</li> <li>・ 表現の工夫1</li> <li>・ 表現の工夫2</li> <li>・ 表現の工夫3</li> <li>・ 表現の工夫4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。</li> <li>・ 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたり文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけることを理解する。</li> <li>・ 書き方の工夫によってさまざまな表現ができることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうか考える。</li> </ul>
第6回      提出期限 1月31日	◆篆刻と刻字	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 篆刻と落款</li> <li>・ 創作</li> <li>・ 鑑賞</li> <li>・ 創作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落款の意味や種類について理解する。</li> <li>・ 篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。</li> <li>・ 篆刻の作品を鑑賞する。</li> <li>・ 刻字の用具・用材や創作の手順について理解する。</li> </ul> <p>■後期単位認定試験 【12月2日～6日】(3年)</p> <p>■後期単位認定試験 【2月17日～21日】(1,2年)</p>